

# 水管理および営農技術の改善活動に用いた参加型手法の紹介

コンサルタント海外事業本部 地域社会事業部 地域整備部 横田 誠 他

## ○キーワード

参加型農村開発、水管理、耕種法、水利費、パイロットプロジェクト、SRI (System for Rice Intensification)、簡易土地所有図、スタディツアー

## ○概要

カンボジア国プレクトノット川流域農業総合開発計画調査では、同流域の不安定で、かつ低い農業生産性を向上させるためのマスタープランを策定し、農業生産性向上の方策を明らかにすることを主目的としている。マスタープラン調査をとおして、同流域における農業生産性向上の阻害要因が、①適切な水管理の欠如、②効果的な営農技術の欠如、の2点であることが明らかとなった。パイロットプロジェクトでは、これら阻害要因に対し、参加型手法を用いた水管理および営農技術の改善・普及活動を実施し、高い成果を得ることが出来た。

本稿では、パイロットプロジェクトで採用した参加型水管理および営農技術の改善において得られた成果と活動内容を紹介し、いかにしてその成果が得られたかを考察する。

## ○技術ポイント

＜持続性、再現性を考慮したパイロットプロジェクト基本戦略＞

パイロットプロジェクト実施にあたり、パイロットプロジェクト後においても、農民がパイロットプロジェクトで実施した活動を続けていけること（持続性）、またプレクトノット川流域以外の地域でも同様の活動が再現できること（再現性）を考慮し、5項目の基本戦略を策定した。5項目の戦略に基づきパイロットプロジェクトを実施した結果、水利費徴収率がパイロットプロジェクト実施前の30%から86%へ上昇し、SRI (System for Rice Intensification) の導入農民が169人という高い成果を得た。

戦略-1：カンボジアにおける農民の優良活動事例の学習

戦略-2：農民・政府・NGOが一体となったプロジェクト実施チームの結成

戦略-3：灌漑農業関連パイロットプロジェクトにおける関連政府機関の連携

戦略-4：農民の追加投入を最小限に抑えた改善活動

戦略-5：農民から農民への技術普及活動の促進

## ○図・表・写真等

戦略-1:カンボジアにおける農民の優良活動事例の学習



カンボジア国内でコメ生産性向上に実績のあるSRIの導入を進め、普及を図った。SRIの導入には、カンボジア国内で豊富な導入経験を持つNGOと協力した。その結果、SRIの方が根や茎が丈夫で、収量も多いことが実感された。

戦略-2:農民・政府・NGOが一体となったプロジェクト実施チームの結成



水利費の徴収率は、パイロットプロジェクトの活動によって水が末端まで行きわたったことから、パイロットプロジェクト実施前の30%に比べて大幅に上昇し、86%の徴収率を達成した。

